

熱可塑性プラスチックの特徴と用途例										
以下に PE、PP、PET について述べる										
<u>1. PE (ポリエチレン)</u>										
特徴：PE は、ほかの樹脂と比べて極めてガラス転移										
点が高い (- 125°) のため低温特性に優れている。										
3 級炭素がないためラジカルが発生しにくい、このた										
め熱安定性と対候性に優れている。結晶化度が高いた										
め対薬品性に優れている。										
用途：食品包装などのフィルム。化粧品やシャンプー										
一、医薬品などのブロー容器。水道などのパイプ。な										
どに使用されている。										
<u>2. PP (ポリプロピレン)</u>										
特徴：PP は、比重が小さく耐熱性、剛性に優れてい										
る。また、透明性、耐薬品性、絶縁性も良好である。										
用途：各種包装用のフィルム。インパネ等の自動車										
部品。注射器等の医療容器。などに使用されている。										
<u>3. PET (ポリエチレンテレフタレート)</u>										
用途：繊維やフィルムもあるが多くは PET ボトルと										
して使用されている。										
特徴：主な使用用途である PET ボトルとしての特徴										
を述べる。PET は結晶性樹脂であるが成形加工時に溶										
融状態から急冷することによって透明性を得る。炭酸ガスや										
酸素のバリア性が良い。缶やガラスに比べ軽量で衝撃										
性及び剛性に優れている。ほとんどの有機溶剤に耐え										
る。										